

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 41 号

第 41 週(10月 5日 - 10月11日)

発行年月日:平成21年(2009年) 10月16日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

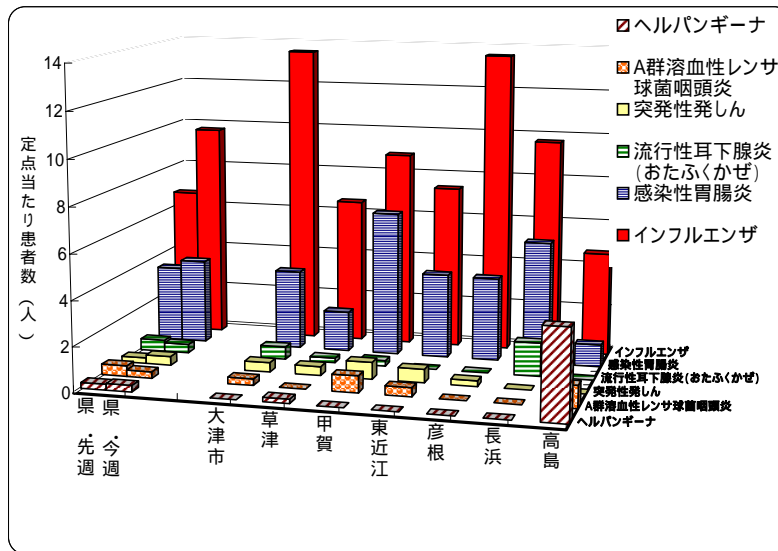
インフルエンザの発生は再び増加 腸管出血性大腸菌感染症の発生は23例

定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりさらに増加し、特にインフルエンザで先週の約1.5倍増となっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、手足口病等で、減少した疾患は水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。インフルエンザの保健所管内別発生状況は、別紙グラフに示すとおりです。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の注意報の発生状況については、インフルエンザでは大津市および彦根保健所管内で注意報発生基準値(定点当たり患者数 10.00)を超えています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名、五類感染症の後天性免疫不全症候群で1名の届出がありました。

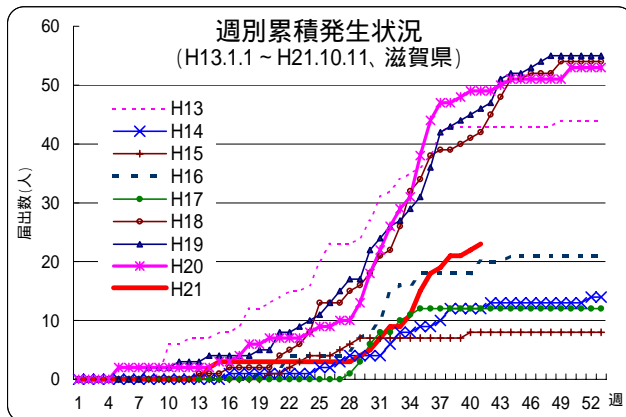
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第41週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナの順に多くなっています。

インフルエンザは大津市以外で急増し、先週のほぼ1.3~2.5倍増となっています。ヘルパンギーナは、高島で多くなっています。

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成16年~平成21年、滋賀県)



平成21年10月11日現在における届出数23名の内訳は、男性13名、女性10名、診断の類型は患者15名、無症状病原体保有者8名です。

血清型・毒素型は

O157・VT1 & VT2 11名、O157・VT2 10名、O1・VT1 1名、O不明・VT1 1名です。

年齢は

0~9歳6名、10~19歳3名、20~29歳4名、30~39歳3名、40~49歳1名、50~59歳3名、60歳~3名です。

保健所管内別は

大津市4名、草津8名、甲賀1名、東近江3名、彦根7名、長浜0名、高島0名です。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (41週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (41週)	全国 (41週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	207	20,375	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	137 ^(*)2)	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	1	23	3,093	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	38	0	43
	A型肝炎	0	0	98	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	64	2	104
	マラリア	0	0	51	1	56
	レジオネラ症	0	6	518	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	9	618	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	172	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	102	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	87	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	8	1,119	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	60	1	76
	梅毒	0	1	544	5	839
	破傷風	0	3	93	5	123
	急性脳炎	0	3	215	1	190
	風しん	0	2	135	2	309
	麻しん	0	7	668	39	11,015
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)3)	- ^(*)4)	138	12,160	-	-

*1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3: 感染症法の一部改正(7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:7月24日～8月24日)。

*4: 感染症法の一部改正(8月25日施行)により届出が不要となったため、集計は行っていません。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第41週(10/5～10/11) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核	217例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症	65例	コレラ	1例	細菌性赤痢	5例	バラチフス	1例	四類感染症: デング熱	5例	四類感染症: 日本紅斑熱	5例	日本脳炎	1例	ブルセラ症	1例	マラリア	2例	レジオネラ症	2例	五類感染症: アメーバ赤痢	9例	梅毒	4例	ジアルジア症	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	10例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	急性脳炎	7例	ウイルス性肝炎	1例	風しん	2例	麻しん	7例
-------------	-----------	------	--------------------	-----	-----	----	-------	----	-------	----	-------------	----	--------------	----	------	----	-------	----	------	----	--------	----	---------------	----	----	----	--------	----	-------------------	-----	-------------	----	---------------	----	------	----	---------	----	-----	----	-----	----

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第36～41週、8/31～10/11)

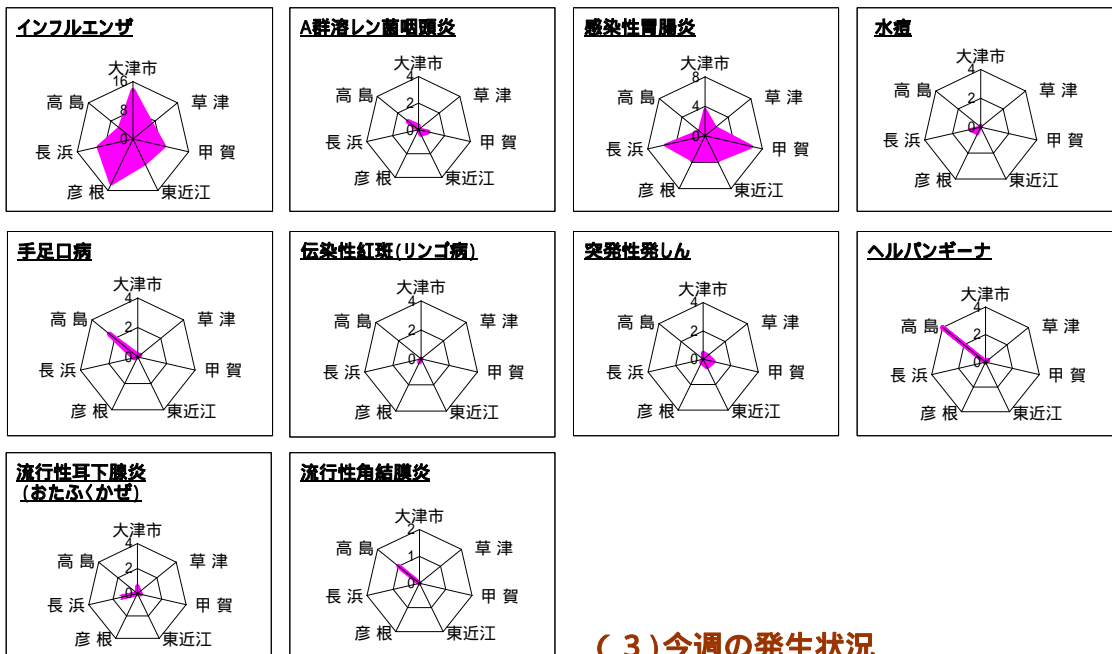
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	36週 (8/31～)	37週 (9/7～)	38週 (9/14～)	39週 (9/21～)	40週 (9/28～)	41週 (10/5～)	37	38	39	40	41
インフルエンザ	2.50	3.08	4.79	8.67	6.65	9.73					
RSウイルス感染症	0.03	0.03	0.03	0	0	0					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.35	0.19	0.19	0.10	0.10	0					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.39	0.42	0.19	0.13	0.48	0.29					
感染性胃腸炎	3.42	2.19	3.87	2.58	3.42	3.81					
水痘	0.39	0.35	0.45	0.35	0.35	0.19					
手足口病	0.71	0.39	0.42	0.23	0.10	0.26					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.03	0	0	0	0.03					
突発性発疹	0.29	0.32	0.39	0.16	0.26	0.39					
百日咳	0	0.03	0	0	0.03	0					
ヘルパンギーナ	0.77	0.61	0.48	0.13	0.26	0.29					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0.35	0.23	0.32	0.52	0.39					
急性出血性結膜炎	0	0	0.13	0	0	0					
流行性角結膜炎	0	0	0.25	0	0	0.13					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0.29	0	0.43	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第41週、10/5~10/11)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		
インフルエンザ	9.73	13.55	6.56	8.86	7.38	13.57	9.71	4.67		
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0		
咽頭結膜熱(プール熱)	0	0	0	0	0	0	0	0		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	0.29	0	0.75	0.40	0	0	1.00		
感染性胃腸炎	3.81	3.57	1.80	6.50	3.80	3.75	5.50	1.00		
水痘	0.19	0.14	0	0	0	0.50	0.75	0		
手足口病	0.26	0.14	0.20	0	0	0	0.25	2.50		
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0		
突発性発しん	0.39	0.43	0.40	0.75	0.60	0.25	0	0		
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	0.29	0	0.20	0	0	0	0	4.00		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.39	0.57	0.20	0.25	0	0	1.50	0		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性角結膜炎	0.13	0	0	0	0	0	0	1.00		
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0		

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中 0 2 4 6 8 10
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

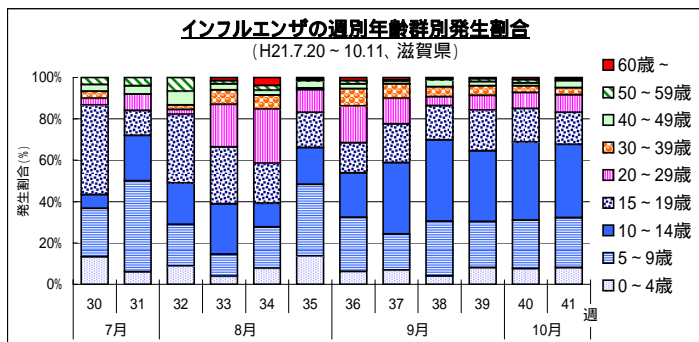


(3)今週の発生状況

インフルエンザ-----大津市保健所管内では先週より減少していますが、他の保健所管内では増加し、県全体の定点当たり患者数は9.73と多くなっています。また、大津市では先週に引き続き、彦根では今週に注意報発生基準値(定点当たり患者数10.00)を超えています。
感染性胃腸炎-----先週多かった長浜ではかなり減少していますが、草津および甲賀では先週よりかなり増加しています。
流行性耳下腺炎-----先週多かった長浜で減少し、定点当たり患者数は1.50となり注意報発生基準値(3.00)未満となっています。

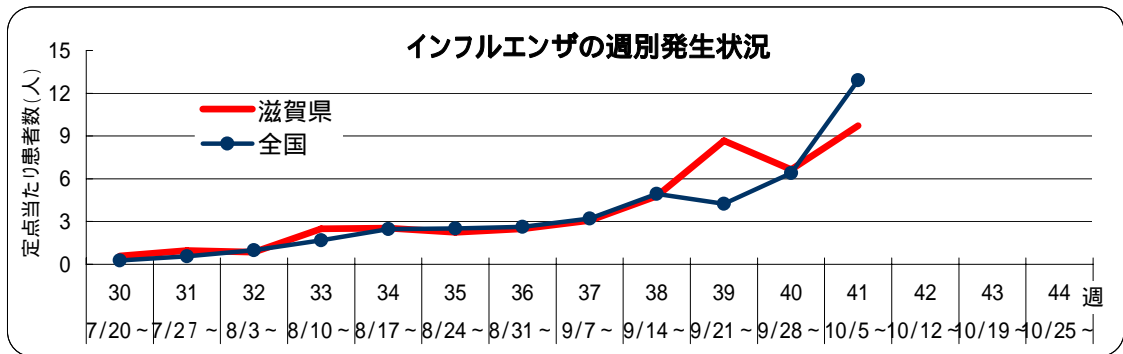
インフルエンザの週別年齢群別発生割合

- 第30~41週、H21.7.20~10.11、滋賀県 -



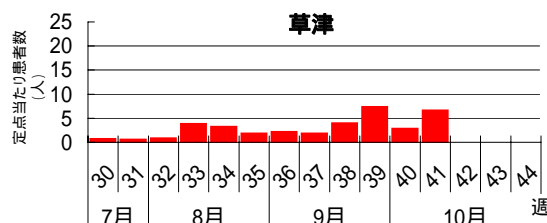
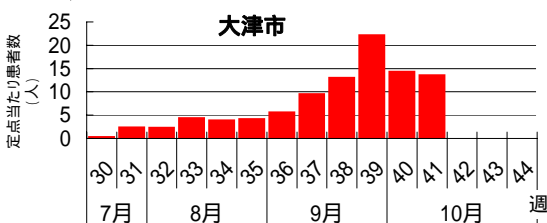
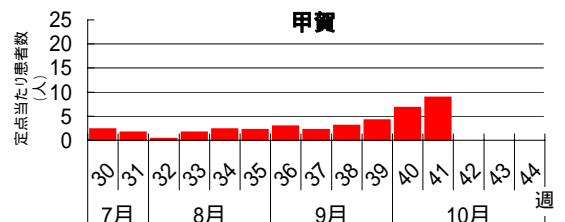
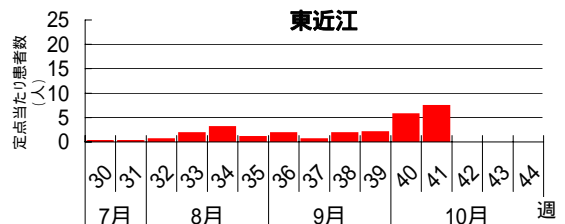
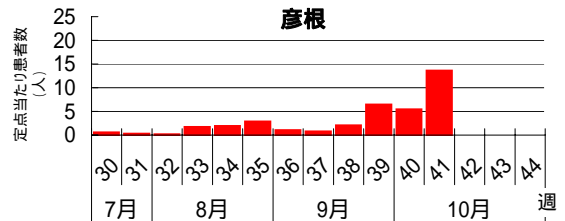
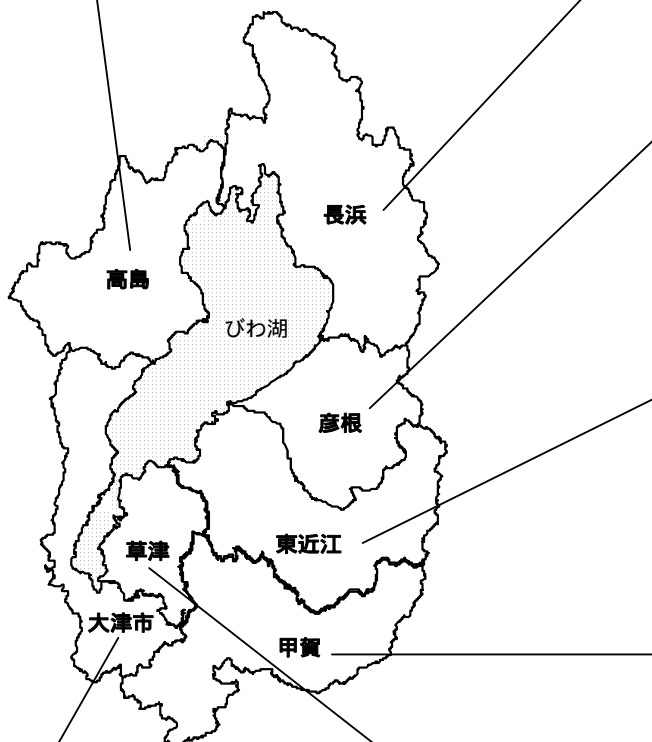
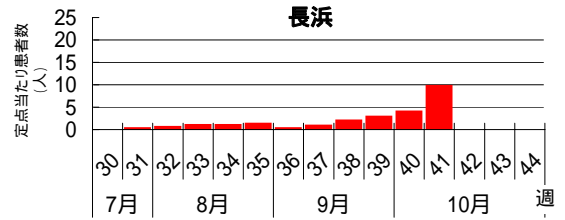
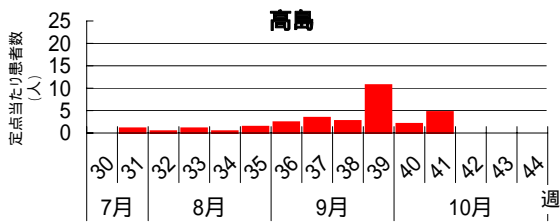
滋賀県における保健所管内別インフルエンザの発生状況

滋賀県・週別発生状況

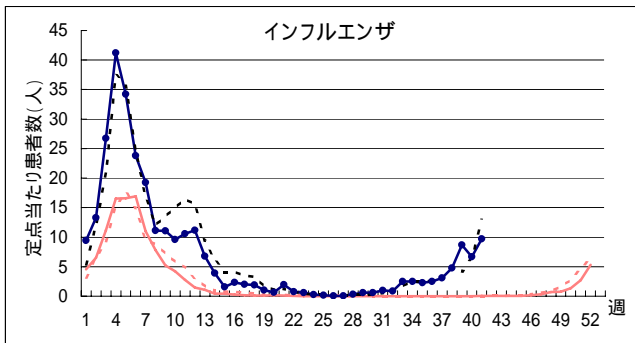


保健所管内別・週別発生状況

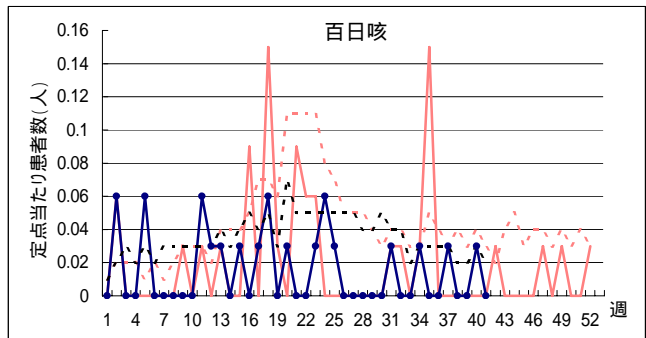
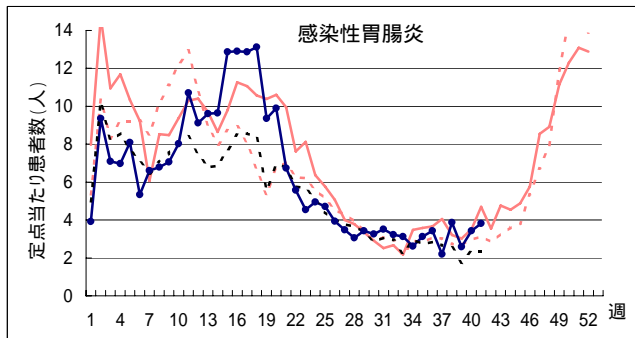
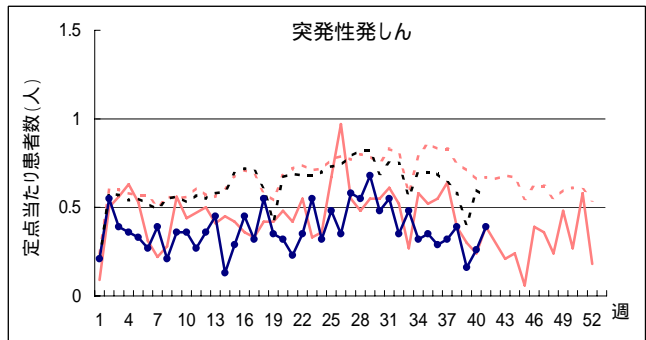
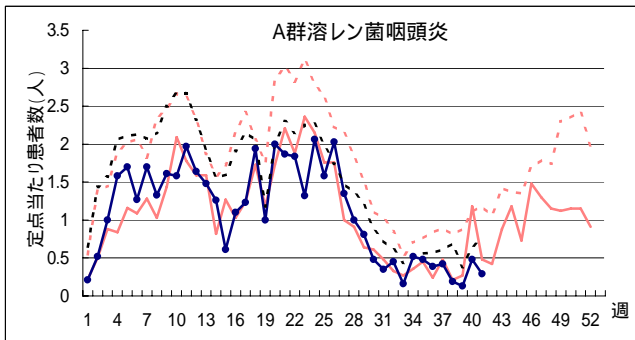
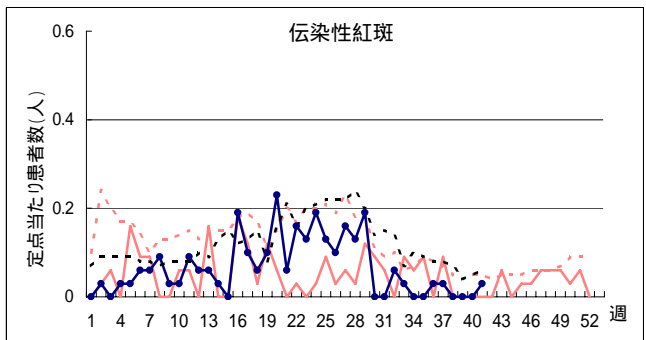
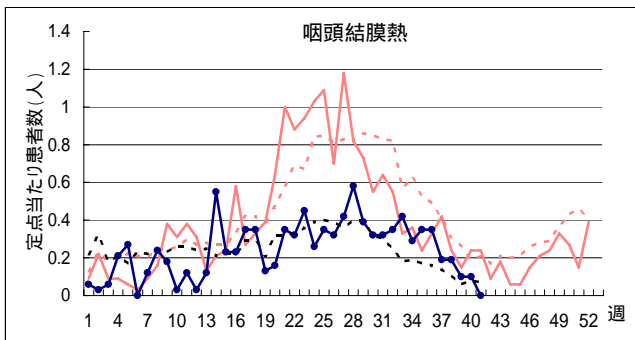
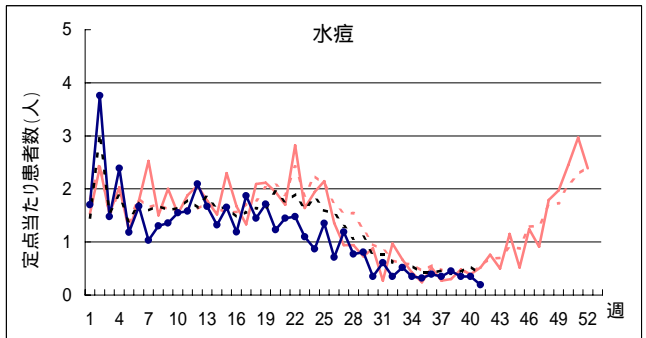
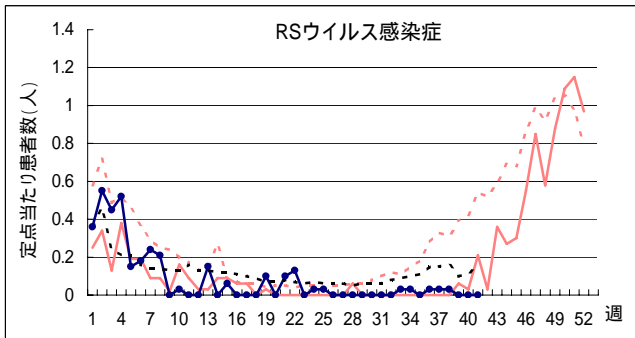
[トップページに戻る](#)



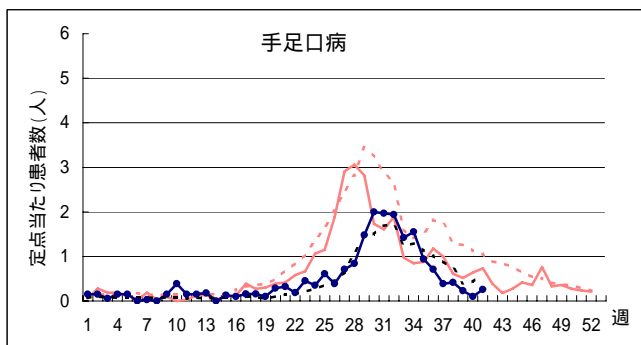
疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~41週、H20.12.29~H21.10.11)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～41週、H20.12.29～H21.10.11)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 ······
 H21
 { 滋賀 ————
 全国 ······

